

# マリレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部  
マリレジャー安全推進室  
TEL 093-321-2931  
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

第63号(平成22年10月)

## 夜釣りの親子が海中転落

9月9日の深夜、北九州市門司区の防波堤において、夜釣りに来ていた34才の父親と7才の男の子が海中転落して二人共亡くなる痛ましい事案が発生しました。

《事例》8日午後7時30分頃、Aさん(34才)は息子さん二人を連れて、関門海峡に面した門司区の防波堤に夜釣りに出かけました。9日午前2時50分頃、付近で釣りをしていたBさんが、泣きながら歩く男の子(5才)を見かけ声をかけたところ、父親と兄が居なくなった旨訴えたことから、男の子と共に付近を捜索しましたが、二人は見つかりませんでした。その後、Bさんは男の子を車に待機させ、再度、友人と共に捜索しましたが発見できなかったことから110番通報したものです。

9日午前7時13分頃、息子さん(7才)は捜索中の消防士に発見され病院に搬送されましたが、病院で死亡が確認されました。

また、Aさんも11日午前7時04分頃、遺体で発見されました。

二人は何らかの原因で海中転落したものと推測されますが、二人ともライフジャケットを着用していませんでした。

### 【事故の教訓】

- ・釣りをする時は、必ずライフジャケットを着用しましょう。
- ・岸壁や防波堤での夜釣りは、思わぬ危険が潜んでいるので、万全の安全対策を取りましょう。
- ・岸壁の階段やはしご等釣り場の状況を確認しておきましょう。

例年、10月から翌年1月にかけて、釣り人の事故が増加します。

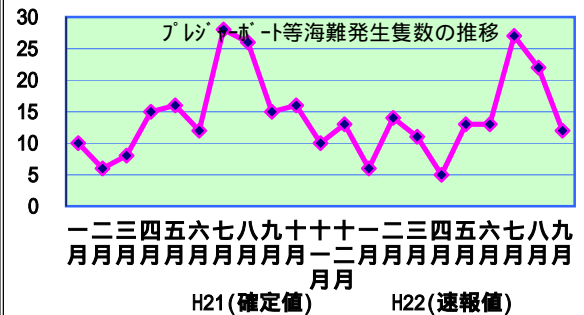
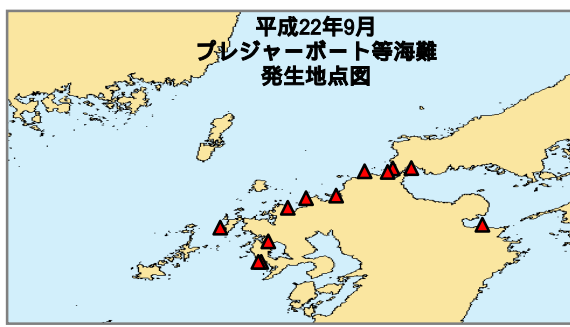
釣り中は、常時ライフジャケットを着用して、相互の安全確認を行いましょう！

### 事故事例と教訓



平成22年9月	
プレジャーボート等 海難発生隻数	
合計	12隻
衝突	3
乗揚	0
転覆	0
浸水	0
推進器障害	3
舵障害	0
機関故障	2
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	4
安全阻害	0
その他	0

マリレジャーに伴う 海浜事故者数	
合計	8人(5人)
遊泳中	1(1)
釣り中	3(3)
サーフィン中	1(0)
タレント中	0(0)
その他	3(1)



( )内は死亡

・行方不明者数

## 観天望気について

観天望気(かんてんぼうき)とは、雲や風、空のいろいろな自然現象や生物の行動の様子などから天気を予想することで、天気のことわざのようなものです。古来より経験的に体得し使ってきたもので、公式な天気予報に代替できるものではありませんが、湿度や雲の構成などから、参考となるものです。出港の際は、天気予報を必ず確認してください。

- 「夕焼けの次の日は晴れ」・・・地球上の多くの場所では、天気が西から東へ移動するため
- 「太陽や月に輪(暈)がかかると雨が曇り」・・・温暖前線の接近に伴う巻層雲のため
- 「おぼろ雲(高層雲)は雨の前ぶれ」・・・温暖前線の接近によって高層雲が現れるため
- 「山に笠雲がかかると雨や風」・・・低気圧や前線に伴う風により、湿度の高い空気が山の斜面を上って水蒸気が凝縮するため
- 「上り雲(北に向かう雲)は雨、下り雲(南に向かう雲)は晴れ」・・・低気圧の前面は南寄り、後面は北寄りの風となるため
- 「朝虹は雨、夕虹は晴れ」・・・虹が見えるということは湿度が高い。  
やがて西から東へ移動して来るので雨
- 「飛行機雲がすぐに消えると晴れ」・・・上空の湿度が低いため
- 「星が瞬くと風強し」・・・強風下では、大気のゆらぎが強くなる
- 「ネコが顔を洗うと雨」・・・湿度が高い時、顔や髭に水滴がつき易くなる。それを猫が拭う為とされる